

# 第11回水稲病害虫発生予察結果(伊豆市内)



## 4月下旬～5月上旬田植えの早生品種(コシヒカリ・ひとめぼれ等)

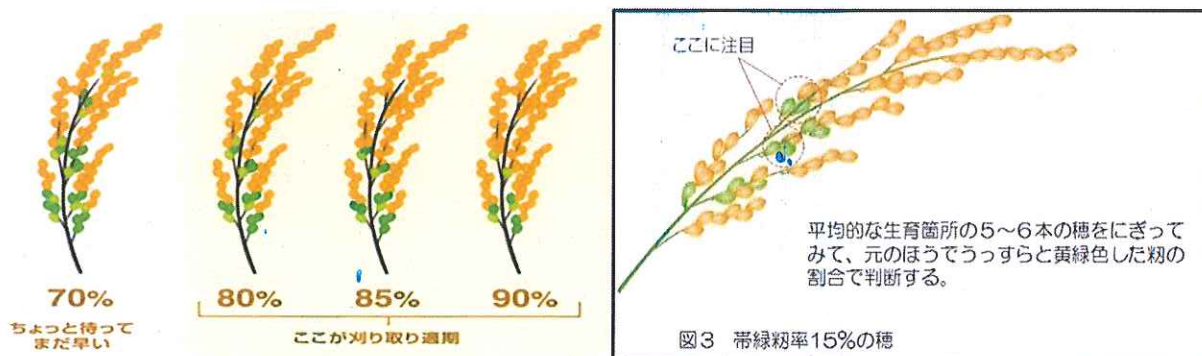
### 【生育状況と栽培管理】

各地区では籾の登熟が進んでおり、巡回を行っている田んぼでは積算温度が 1,000℃を越え刈取目安となりましたが、ご自身の田んぼの収穫日については籾の色を確認していただき刈取り時期の決定を行って下さい。

刈取りが早すぎると未熟米が多くなり、遅くなると未熟米は減り玄米量は増えますが、着色米や胴割米の割合が多くなる原因となり、どちらも米の品質検査では等級を落とす原因となります。籾の黄化具合による刈取り時期の判断方法は以下の図を参考にしてください。

#### 刈取り時期の目安

(籾の 80%～90%程度が黄化し、穂の元に緑色の籾が一部残っている頃)



各地区の早生品種の出穂が確認出来てからの積算温度は以下の通りとなります。

(8月22日時点)

地区	下白岩	原保	門野原	大平	北又
温度・出穂					
積算温度 (℃)	1,035.36	1,033.2	1,053	1,030.32	1,032.12
出穂からの平均気温	28.76	28.70	29.25	28.62	28.67
出穂確認日	7月16日 (出穂より36日目)				

※積算温度と出穂確認日はJAが行っている、各地区の巡回圃場での計測値となります。

## 5月中旬～下旬田植えの中晩生品種(きぬむすめ・あいちのかおり SBL 等)

### 【生育状況と栽培管理】

中生品種につきましては穂揃期～乳熟期となっており、晩生品種につきましては穂ばらみ～出穂が始まったころとなります。玄米の生育には水が必要となりますので、間断灌水の水管理を行うようにしてください。詳しくは第7回水稲病害虫発生予察をご参照ください。

### 【病害虫の発生状況】

防除を行っていない田んぼでは、カメムシ類、ツマグロヨコバイ、ウンカ類が多く見られております。薬剤防除を行い被害減少させるようお願いいたします。カメムシの防除方法につきましては第5回水稲病害虫発生予察結果をご参考ください。

### 【今後の水稲病害虫発生予察について】

今年度の定期的な水稲病害虫発生予察は終了となりますが、ウンカの大量発生情報等がありましたら、FM伊豆やJAふじ伊豆ホームページなどを通じて告知いたしますのでご確認ください。

**前回の予察結果・栽培管理は  
こちらからご覧になれます！**



作成日：令和6年8月20日

JAふじ伊豆修善寺営農経済センター

担当：竹村

電話：0558-72-4461